

5 妊活・不妊治療中にパートナーにされて助かったサポート

回答が多かった順にまとめると「検査・治療への協力・関心」、「声掛けや励まし」、「話を聞く」、「家事のサポート」、「金銭面のサポートその他」等の意見に分類できた。

<表27：パートナーのどんなサポートが助かったか聞かせてください（記述）>

区分	妻の意見
検査・治療への協力・関心	<ul style="list-style-type: none"> ・タイミングの計画を一緒に立てること。こちらからばかりお願いするような形は、悲しく情けない気持ちになり、夫婦関係に亀裂が入る。 ・嫌な顔一つせず、検査を受けてくれたこと。 ・今日この日をお願いします、と言っても嫌がらない。プレッシャーになっていると思うが、それを口や態度に出さないところ。
声掛けや励まし	<ul style="list-style-type: none"> ・生理がきて落ち込んでいた時、そっと抱きしめてくれたり、涙を拭いてくれたり、「辛いね～。痛い思いもいっぱいしてきたもんね」と、わたしの思いに寄り添い、心の支えになってくれた。 ・生理が来ると、どうしても暗い気持ちになってしまうので、その分主人は常に前向きでいてくれて、ポジティブ妊活を心掛けてくれているところ。
話を聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・辛く苦しくなったとき、変に励ますのではなく、しっかり向き合って話を聞いてくれます。 ・毎月毎月生理がやってきたときと、周囲の妊娠報告を聞いた時のどこにもぶつけようのない悲しい気持ちを共感してもらえること。 ・治療の辛さを傾聴してくれたこと。
家事のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・洗濯物をたたむことや、病院までの送り迎え、部屋の掃除、布団の上げ下げ。 ・検査後や治療・処置後など、病院に行った後は疲れるので、家事のサポートが一番助かる。
金銭面のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・文句ひとつ言わずに病院に行ってくれて、優しい言葉をかけてくれる。私が妊活のために仕事を続けられなくなって家計が厳しくても毎日働いてお金を稼いでくれる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートなし。不妊は女性の問題で自分には関係ないという固定概念しかなかった。

区分	夫の意見
検査・治療への協力	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎体温のアプリを共有してくれたので逐一口に出さなくても理解しやすく、タイミングに向けて心の準備もしやすい。 ・病院からの情報を詳しく教えてくれて病院に行けないときでも先生に思いを聞いてくれていた。